



国見別宮社秋祭(やぶさめ行事)

表紙の説明

流鏝馬(やぶさめ)は、県内ではここだけに伝わる豊作祈願と無病息災を祈る行事で、県選択無形民俗文化財に指定されている。毎年10月15日に行われるが、一時中断しており、2年ぶりに開催された。

■問い合わせ先 商工観光課 TEL (0978) 72-5168

第5回臨時会  
9月定例会

平成20年度決算を認定……………2~3

決算特別委員会・議案質疑……………4~6

7人が登壇 一般質問 市政を問う……………7~13

常任・特別委員会報告……………14~19

平成20年度

# 一般会計・各特別会計決算を認定！

○ 一般会計歳出決算額	188億7,662万円
○ 特別会計歳出決算額	146億6,661万円

## 9月定例会

会期は9月8日から30日までの23日間、議案18件. 認定15件. 意見書1件など可決。

### 9月補正予算額決まる！

● 一般会計補正予算額 4億1,231万円  
 総額212億6,578万円に。

#### 【歳出の主なもの】

- 集会施設空調設備等設置事業補助金 1,950万円
- 緊急雇用創出事業 2,899万円
- 市営住宅ケーブルテレビ引込工事 2,722万円
- 住宅用火災警報器設置推進事業補助金 682万円
- 財政調整基金等積立金 2億3,600万円

#### ● 市民病院事業特別会計補正予算

#### 【資本的支出】

- 市民病院改築工事実施設計業務委託料 8,700万円

○ その他の各特別会計補正予算総額は、3億975万円で、主なものは、それぞれ前年度繰越金の確定によるものです。

### 主な議案の内容

一般旅券発給等事務証紙等購買基金条例の制定

平成21年11月1日よりパスポートの発行が市役所本庁で開始されるため、条例を整備するものです。

### 人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の推薦について、次の方が適任とされました。

- 国見町 河野 亮道氏
- 武蔵町 岩光 和子氏



第10回九州瀬戸内高等学校女子駅伝(神村学園の優勝の瞬間)

みなさんからの

## 請願

9月定例会で請願1件が採択されました。

○「協同出資・協同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定について意見書の提出を求める請願

### = 意見書を可決 =

(内閣総理大臣等に提出しました)

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

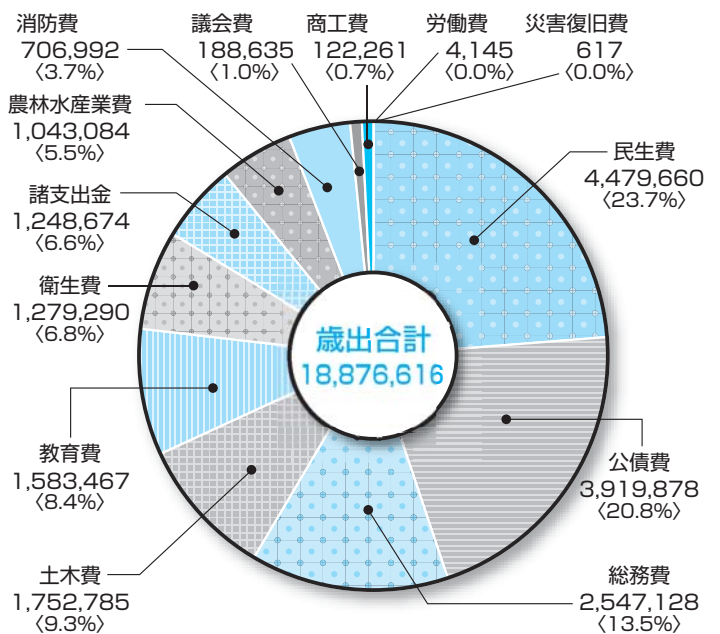
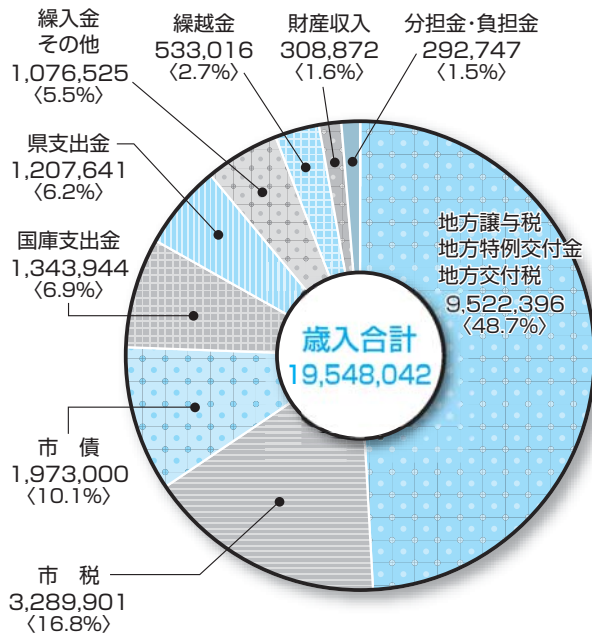
### = 決議書を可決 =

○天皇陛下御即位20年奉祝賀詞決議書

Finance

〔平成20年度 一般会計の決算状況〕

(単位:千円)



※歳入歳出差引

(単位:千円)  
 【歳入】 19,548,042 - 【歳出】 18,876,616 = 671,426

市民1人当たりに使われたお金……………562,927円

◎民生費

133,590円



◎農林水産業費

31,106円



◎教育費

47,221円



◎消防費

21,084円



◎総務費

75,959円



◎議会費

5,625円



◎土木費

52,270円



◎商工費・労働費

3,770円



◎衛生費

38,150円



◎その他

154,152円



市民1人当たりが負担した税 ……98,109円

◎市民税(個人・法人)

39,594円



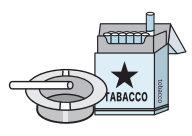
◎固定資産税

50,827円



◎市たばこ税

5,287円



◎軽自動車税

2,376円



◎その他

25円



# 決算特別委員会を設置

議長と議会選出の監査委員を除く議員全員による決算特別委員会(委員長 馬場 将郎)が設置され、9月24・25日の2日間、特別委員会を開会し、一般会計決算と各特別会計決算15件を原案のとおり認定すべきものとした。

## 委員会での主な質疑

**Q** 20年度の国の予算では第一次補正、第二次補正という2回の景気対策予算をしていますが、市としては、20年度の予算で処理するのか、21年度予算で処理するのか、また20年度で国の景気対策予算として通常より余分に配分されたのは総額いくらか。

**A** 20年度に予算化したのは3億5,000万で、残りの1億5,000万程度は基金に積んで21年度に執行する計画です。

**Q** 20年度の予算の中で一般会計から特別会計に概ねどれくらい繰り出しているか。

**A** 広域連合の療養負担金を除いて、21億3,500万になります。

**Q** 19年度に続き、監査委員からの指摘もあるように、予備費を充当して不用額をそれ以上出している事案を数多く見かけるが、旅費についてどういう考えなのか。

**A** 旅費については、当初予算でその年間の所要額を計上しています。年度途中でやむを得ず出張が発生した場合は予備費の充用の措置はとっていますが、不用額で残

るということは適正でないもので、そういう事案が発生しないように取り組んでいきます。

**Q** 滞納額が8億2,500万と非常に多いが、会計基準から言うと5年を過ぎると不納欠損で処理をするというが、来年度5年を過ぎて落とす予定をしている金額が2億円と聞くと、これはすべてそつするのか。

**A** 5年を過ぎた滞納が2億円ありますが、滞納者の実態を精査した上で、本人が行方不明とかそういうことで確認できた分について不納欠損で処理をします。

**Q** 企画費の中の地域審議会委員の内容について、また、この審議会は区長会での会議で足りるのではないか。

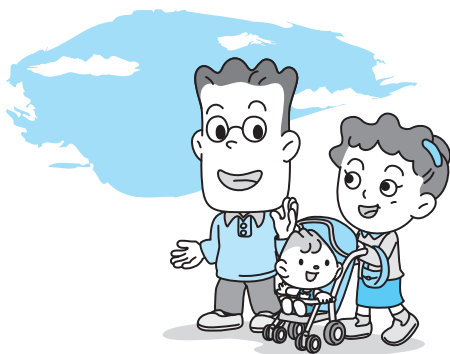
**A** この地域審議会は合併協議会で10年間の存続を決められ、任期は2年、昨年度は、53名の委員で4町ごとに1回開催しました。内容は、建設計画それに基づいた総合計画の進捗状況あるいは、変更等を審議していただきます。区長さん以外の方も委員さんになっていきますし、地域活性化のための地域独自の意見を吸い上げるところです。地域全体の行政を扱っている区長会とは違い、専門的な会議をしています。

**Q** 監査の指摘どおり、現金の処理・保管の方法について危機管理体制ができていないのではないか。

**A** 耐火金庫を購入し、セキュリティに対する資質の向上を図っていきたいと考えています。

**Q** 生活保護費は、決算の中でも予算に対して2,500万の不用額が出ているが、昨年は経済危機に発端して、派遣切りなどの問題もあつたが、生活保護者の数の増減について説明をお願いしたい。

**A** 該当者が増えた場合を考えて、予算では多めにとっています。現在の動向は、約220世帯で、現在、微増しています。



Q

県営圃場整備事業融資損失補償金が935万3,137円と高額になっているが、この徴収計画はどのようになっているか。

A

現在、国東町土地改良区の方で滞納事務を行っています。その内容は電話連絡等を重ねながら最終的には督促状を発送し、その後は、理事会の中で差し押さえ等処分をするという流れになっています。

Q

中山間地域等直接支払交付金において、9月7日に安岐町で行われた説明会について。

A

現在精査していますが、市の事務的なミスで、中山間整備事業の本身で補助対象にならない地域が含まれており、国・県に返還する必要があります。詳細がはっきりした段階でまた説明します。

Q

市観光協会に290万の補助金が支払われているが、どういう事業を展開しているか。また、文化財課との横の連絡がないのではないか。

A

昨年の主な事業は、北九州などで観光物産展の開催や観光案内板5基の設置、国東の特産品、工芸品の24品目に観光協会でお墨付きシールを作り、それを貼る事業や月1回ずつ研修を行い、協会で公認した観光ガイドを養

成する事業、現在11名のガイドが誕生しています。他に、「国東半島」を歌った松前ひろ子さんを観光親善大使に任命をして国東市を宣伝していただいたりしています。市でするので、横の連絡については一本化していきます。

# 議案質疑

## 9月定例会

### ★一般会計補正予算（第3号）について

Q

今回の補正予算は国の大型経済危機対策により予算がつけられており、これは凍結、廃止、見直し等と言われているが、もうすでに周知されているのか、また、この予算が削減、縮小となった場合、国の補助関係の歳入欠陥を起こす可能性があるが、一般財源をつけてでも執行するのが。

A

65歳以上の独居老人世帯に設置する火災警報器や公民館のエアコン設置の分については問題ないと思いますが、子育て応援特別手当の場合は、100%の補助ですし国からの指示がまだないので、一般財源からの補てんはありませんが、7月補正で議決された予算の公共投資に係る分、例えばいこいの村国東、安岐の柔剣道場の整備についてはどうなるかわかりません。

Q

緊急雇用対策の防火水槽清掃委託料と経済危機対策の防火水槽清掃資機材リース料は抱き合わせの事業と考えてよいのか、また、内容は。

A

抱き合わせで行う同じ事業です。人件費につきましては、1名がユニボ等のオペレーター、あと6名が1日9,500円の40日間の作業という内容になります。

Q

緊急雇用対策の一つ、労働諸費の荒廃農地現況地目データ入力事業の委託料について、その内容は。

A

今、農業委員会ですり内全体の耕作放棄地の調査を行い、それをもとに、税務課で現況に合わせた課税を行うため、市内全域の荒廃農地等の現況地目の見直しをします。

Q

自治振興費の自治公民館エアコン設置助成事業について、市内の



Q

市民病院の看護体制について、13対1から10対1体制となったが、実際どちらが経営的に好ましいのか。

A

昨年11月から10対1体制に移行しましたが、一定の成果は上がっていると思います。また、看護サービスの向上の点からも好ましいと思います。

Q

5社に草刈や側溝の土砂上げを委託しています。総合支所ごとに発注、入札して契約をします。

A

市道維持管理委託料の内容と委託先について。

**Q** 公立学校図書館蔵書データ作成事業の15万円の減額の理由とデータ作成の進捗状況は。

**A** 各地区で臨時職員を採用したため、学校までの通勤手当を減額しました。また、その事業は6月から始まり、各学校2〜3週間程度で完成しております。あと何校が残すのみとなり、第1期は10月末を一応完了の時点と見込んでいます。



**Q** 防火貯水槽新設事業について、60万円の一般財源を計上してまでも過疎債から合併債のほうに切り替えた理由と、それならなぜ過疎計画の追加事業ではあげられなかったのか。

**A** 過疎地域自立支援の計画書に当初予算時点で計上されていなかったためです。変更も可能かと思いますが、過疎債、合併特例事業債の申請時期との絡みでやむなく振替えさせていただきました。

**Q** 労働諸費の林道環境整備事業の内容と委託先は。

**A** これは市内全域の林道の整備事業で地元の林研グループのお力を借り、臨時職員等を公募して市直営で行います。

## 第5回臨時会(7月)

### ★一般会計補正予算(第2号)について

**Q** 小・中学校のICT設備(デジタルテレビ・電子黒板)購入や太陽光発電設置における業者選定については、地元の景気対策も含めどういう考え方なのか。

**A** 金額が大きいため、きちんとしたメーカーのものを購入して配布することは大事であります。最終的には地元の方々にも経済的な効果が出るような入札を考えているところです。

**Q** 今回は大変大きな大型補正であるが、その予算づけとなった市長の方針と昨年つくった国東市の総合計画との整合性について、これを参考にしているのかどうか。

**A** 基本的には恒久的な施設整備に係るものにも投資をというのと地域性を考えながら地域に合った仕事をしていきたいと思っています。総合計画については、実施計画を3年単位で立てて各年度ごとに見直しをしております。その中に入っている事業もいくつか今回の対策の中に織り込んでいますが、今回は全体的に緊急対策なので早急に計画を立てて地元の方々に経済効果が出るよう政策をしているところです。

**Q** 道の駅くのみオートキャンプ場整備工事の事業形態、また事業計画について。

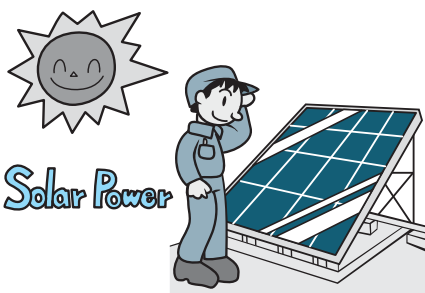
**A** 当地は、付近に道の駅くのみ、海浜公園、総合運動施設等があり、国見町で言えば賑わいの場であり、4千㎡ある市有地を利用してキャンピングカー等も利用できるオートキャンプ場をつくることで、交流人口の増加を図りたいと考えています。管理運営については、市直営でなく、委託していきたいと思えます。

**Q** 防災ハザードマップ作成業務委託料について、まだ700万円もかかるのか。

**A** 当初予算でも上げておりましたが、今回は行政区ごとに土石流、津波、土砂災害、避難場所等載せた5000分の1の地図をつくり、全戸に配布するためです。

**Q** 小・中学校太陽光発電設置工事に関して、エコ対策なのはわかるが、学校現場で本当に必要なのか。つけた場合にどれだけの効果がでるのか。

**A** 国見中学校の試算を例に出しますと、発電電力量は年間で2万kW、CO<sub>2</sub>においては6.2t排出抑制することが出来ます。中学校は4校全部設置する予定です。



# 一般質問



丸小野宣康 議員

## 新型コロナウイルスの医療体制は

— 市内医師会が連携して対応 —

○新型コロナウイルスエンザ対策について

議員 市内の発症状況は。

生活福祉部長 国の方針により現数把握を行わなくなり、集団感染についても8月25日以降医師からの届出義務が不要となったので詳細な把握はしていません。

議員 医療体制の整備状況は。  
生活福祉部長 入院用病床数は439床、人工呼吸器は市民病院10台、あおぞら病院3台、国見病院1台、消防署に携帯用2台です。市内医師会が連携して対応していただくようにしております。

議員 感染予防対策について、

予防資機材の確保状況並びに学校での予防対策はどうか。

生活福祉部長 職員は現場や窓口で対応するための防護服やマスクは備蓄しています。

教育次長 市の対策本部から緊急用のマスク2千枚と手洗い薬用石鹸630個を各学校に配布しています。

議員 重症化した場合の対応策は。

生活福祉部長 ワクチンは10月下旬以降に接種可能となりますが絶対量が不足しているため国の指針に従って接種を進めたい。

○災害に強いまちづくりについて

議員 土石流等発生と危険箇所の現状はどうか。

総務部長 土石災害特別警戒区域36箇所と土砂災害警戒区域の2箇所が指定されています。県が実施する火山砂防事業で、本年度安岐町で3箇所施工中です。来年度は、国東町で1箇所予定されており、今後も順次整備の予定です。

議員 予防治山ダムの整備状況は。

産業商工部長 合併から平成20年度まで11地区で、総事業費3億9,336万6千円で実施しております。本年度新規事業として山地災害総合減災対策治山

事業を3地区で計画しています。

議員 洪水被害予知対策は。

総務部長 気象警報発令時に本庁の防災担当職員2名に瞬時に情報把握が出来る24時間体制をとっています。

議員 防災無線等の有効活用は。

総務部長 災害時には地域の実情にあった情報を即時に流せるよう本庁、各総合支所に担当職員を配置して災害に備える体制をとっています。



国見町西方寺地区の治山ダム



宮永 英次 議員

## 市税の徴収率低下の原因と対策は

— 本庁の税務課並びに総合支所を

統一的に改善 —

**議員** 昨年度は市税の徴収率は下がっており、その原因と対策について聞きたい。

**総務部長** 景気の低迷による市民税、それから企業の低迷による固定資産税等が主要因です。対策としては、徴収業務の改善を図るため、大分県から派遣されている県職員の助言、指導を受け、本庁の税務課並びに総合支所を統一的に今後改善する必要があるということです。改善計画を作成しています。

**議員** 活力ある国東市の構築へ向けて今後どんな施策を考え

ているのか。

**企画部長** 今後の主要施策につきましては、総合計画の実施計画や年度予算に盛り込んである事業を取り入れ、優先順位を審議し、事業遂行を図っています。

**議員** 小規模集落対策の専門部を設けて、きめの細かい支援策を進める考えは。

**企画部長** 今年度、市内19の小規模集落に集落支援員を設置し、各集落の課題など現状を把握し、次年度以降、具体的な実施事業の計画を進めていきます。

**議員** 今まさに旬のカボスを市内全域の荒廃園、耕作放棄地に植栽推進する考えはないか。

**産業商工部長** 市としては何らかの作物の作付けを推進したいと考えていますが、現在の農家状況を考えた時に、すべての面積にカボスを推進するのには慎重にならざるを得ません。無理に推進しても過去のようになる事も予想されますので、やる気のある農業者や企業等による推進が一番の方策だと考えています。ハマノ果香園には通常の管理や果実の収穫など地元雇用でお願い

いしており、会社としても地元雇用の最優先を了解しています。



小原のカボス団地



# 一般質問



綾部 敦 議員

## 外部への委託料の圧縮は

— 自前で出来る専門技術者を採用 —

ないかと思えますので、今後

精査する中で対応するよう努

力してまいります。しかし、

技術を持った職員もおります

ので、その職員を中心にして

出来る分については対応して

おります。

いきたいと考えております。

### ○県の公共工事業費事 務負担金

議員 県の公共事業の一部を市

町村が負担している負担金を

見直すよう県市長会はどのよ

うに協議されているのか。

### 土木建設部長 県の市長会とし

ても秋の定例会の場で負担金

の抜本的な見直しを要望する

ことを決定しているところで

す。

### ○団体生命保険料の還付

議員 団体生命保険料の事務手

金

数料は年間いくら還付されて  
いるのか。

総務部長 20年度決算で申し上  
げますと事務手数料は343  
万円ほどです。

議員 平成6年当時、消防署の

広域圏の事務局での問題はど

のような決着をつけたのか。

消防長 消防本部で調査いたし

ました。取り扱いで不適正な

面が見受けられましたが、詳

細については何分にも15年前

のことで全容説明はできませ

んでした。

### ○委託料の見直し

議員 委託料の支出の問題に対

して精査し見直しされてきて

いるのか。

土木建設部長 市の事業の中で

ほとんどの部局に見られる委

託料は数多くあり、専門知

識・資格が必要なものがほと

んどで、外部発注しか選択肢

がないものが多いと認識して

おります。

議員 自前で出来るものと専門

家に委託しなければならぬ

ものを見直す必要は

生活福祉部長 市の職員で対応

可能なものも少数あるのでは

市長 市といたしましても、私

といたしましたもそのような

方向で専門技術者等を採用し

ていき、このような費用を抑

えていくような手立てをして

議員 今後資格を持っている人

を採用しながら、このような

委託料を自前で出来る体制が

いいのでは。



県道国東安岐線改良事業



野田 忠治 議員

## 第一次産業発展として

## 地産地消の振興を

― 部会を中心とした生産拡大等 ―

### ○市内の農産加工工場等の 取り組みは

議員 農業振興の一環として先の議会で、地元産の野菜等を学校給食や市内直売所で、消費及び販売促進の取り組みを質問した。

その結果、先般の報告で、学校給食においては、地元野菜の使用率も上がり、一定の成果があらわれたと認識している。

今回はさらに、地元農産物の消費拡大を図るため、市内に有する加工場等の取り組みについて質問する。

現在くみ農産加工では地

元産のタマネギなどを調達

し、加工販売等を行っているが、現状では納入農家の高齢化や労働力不足等で十分な納入がなされていない。加工所でも地元で十分な納入があれば地元産を使用したいといっている。

今後の地産地消の推進として、労働力の確保、コストの安定面等を勘案し、団地化、集落営農等を有効活用した契約栽培等が必要となってくると思う。合わせて加工所等の整備を行うことにより、国東市の基幹産業である農業発展につながると思うが今後の取

り組み、考えは。

産業商工部長 くみ農産加工

は農産物の地産地消や養豚農家の経営安定、雇用の確保の場として設立され、国東市内の原料供給は、JA加工野菜部会が中心で、国見町が主体で、タマネギ、大根、パジル等を中心に供給しておりますが、この国東産、市内産は、供給時期が限定され、そのために県外産に頼ることも原因の一つです。

年間安定供給するためには、品質保管用貯蔵庫の整備が必要です。

また、市では、年間の生産

が安定して出来にくいことも市内産減少の要因であると考えています。

今後は部会を中心とした生産拡大や県に依頼し、加工野菜生産者の斡旋などについて、くみ農産加工や関係機関と協議をして、設立当時の目的を果たすように前向きに検討をしてまいります。



くみ農産加工(有)

# 一般質問



白石 徳明 議員

## 肺炎球菌ワクチン接種の公費助成は

— 助成の必要性を検討 —

関係機関等協議しながら公費助成の必要性を検討してまいります。

**市民病院長** 肺炎球菌ワクチン

を公費助成して施行したところ、ワースト1位だった高齢者医療費が800位まで下がった町があります。

### ○市道の管理について

議員 市道修復の見直しは。

**土木建設部長** 現在56件の要望

書が出ていますが、23件は未処理です。改良や修繕については優先順位をつけて計画を立てます。市全体のバランスと財源等を総合的に判断し計画していきたいと思えます。

議員 市道の草刈り等管理報酬

金の見直しは。

**土木建設部長** 県下では高い単

価です。これ以上の上積みは大変難しいと考えています。

### ○梅園の里の未払い金問

### 題について

議員 進展状況について。

**産業商工部長** 現在県外の法人

から訴訟が起こされ裁判中であるので、市としては司法の判断により対応していきます。

議員 指定管理者は未払い金の

支払い能力はあるのか。

**産業商工部長** 支払い義務はあ

ると考えております。

議員 解決に向け市の方針を出

すべきではないか。

**産業商工部長** 16業者に927

万2,543円の未払い金と

### ○肺炎球菌ワクチン接種について

議員 市民の健康と医療費の削

減のため公費助成を。

**生活福祉部長** 特に、高齢者の

方はインフルエンザに感染した4分の1の方が、細菌性肺炎にかかりやすく重症化するといわれており肺炎球菌ワクチンの有用性は認識していません。

### 肺炎球菌ってなあに？

私たちの身の回りには、細菌やウイルスなど、目に見えない微生物が数多くいます。肺炎球菌はその中のひとつです。

肺炎球菌は健康な人の鼻や咽喉にもよく見つかりますが、症状に出ない人が多く、その様な人も体力が落ちる時や高齢になって免疫力が弱くなると症状を引き起こします。肺炎球菌が引き起こす主な病気としては、肺炎、気管支炎などの呼吸器感染症や副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎、敗血症などがあります。



堤 康二郎 議員

## 通学路の安全確保を

— 関係各所と連絡・協議し対応する —

を提出しています。

### ○通学路について

議員 国東中学校への富来からの通学路で歩道の草刈りや防犯灯、国東小学校下の市道豊崎線の歩道拡幅の声が上がっているが。

**教育総務課長** 国道の歩道は、県の管理であり学校と連絡を取り対処します。

**土木建設部長** 市道は子どもたちの安全確保の意味から、現場を調査し関係各所と協議し対応します。



国東小前の歩道

### ○学校統合のメリット、デメリット

議員 国東市学校幼稚園教育環境整備計画（21年3月策定）では、平成23年度に大恩小、来浦小と富来小の統合。平成24年度より、国見町、武蔵町で小学校の統合を検討開始となっている。安岐中央小、国東中等の統合によるメリットとデメリットをどう把握しているか。

**教育長** メリットは少人数の固定した友人関係にとどまっていたものが、多くの児童と交わり人間関係能力の育成、施設等が整い意欲的に学習でき

るようになっていきます。デメリットは、きめ細かい指導ができないこと、旧校区の方々のふれあいがかまめにできなかったことです。デメリットの解消策として、少人数での指導、放課後等の個別指導を行うなどの工夫をしています。地域とのふれあいでは、地域行事に積極的に参加しています。

できないか。

**教育長** 市の財政状況もあり、幼稚園、小学校とのバランスもあり困難と考えています。

### ○生活環境について

議員 倒壊しそうな空家が、近所に迷惑をかけている。空家の実態を把握し、対処しているか。

**総務部長** 市内の実態は把握していません。管理放棄された土地、住宅等については住民の安全を守る観点から地方公共団体等が弾力的に対応できるように法整備や財政措置を講ずるよう、国に対し要望書を

### ○中学生の保護者への援助を

議員 中学生になると児童手当がなくなり、出費がかさんでくる。給食費の一部でも援助

# 一般質問



堀田 一則 議員

## 職員・議員の市役所駐車場

### 有料化の考えは…

— 行財政改革の中で総合的に判断したい —

と思います。  
ネーミングライツにつきま  
しては、今後とも検討してま  
いりたいと思います。

### ○市役所周辺の駐車場の 有料化について

議員 当市では職員利用の駐車

場に年間多額の賃料を支払っ  
ている。高知県南国市では  
「利用協力金」として職員や  
議員に一人月千円もらってい  
るそうです。行革の折、ま  
た、職員の健康と地球温暖化  
のため、いくらかの負担を協  
力できないか。

総務部長 駐車場については、

市が借り入れ賃借料を支払っ  
ているのが現状であり、行財  
政の面からはメリットもあ  
り、行財政改革の中で総合的  
に今後判断して考えていきたく  
いと思いますが、現状では考  
えていません。

### ○公立幼稚園、保育所並 びに児童館の民営化に ついて

議員 小子化と放課後児童クラ

ブの充実によりそれらの施設  
の役割が中途半端となり過剰  
な経費がかかっている。いよい  
よ運営ができなくなっては民  
間も引き受けてくれないが。

教育次長 市の学校教育審議会

の答申では、園児数の少ない  
幼稚園と公立の保育所との幼  
保一元化をしているので民営  
化については難しいと思っ  
ています。市の公立幼稚園、保  
育所等あり方検討委員会を設  
置しており、規則の制定をし  
たので、その中で幼保一元化  
等を検討したいと思います。

福祉事務局長 児童館の民営化

については、公立、私立にか  
かわらず、人件費に対して  
国・県から補助金がないので  
民営化の選択肢は難しいと思  
慮しています。

### 【近隣のゴミ袋の値段比較】

	可燃ごみ (大)	可燃ごみ (小)
国東市	42円	31.5円
宇佐市	30円	22円
豊後高田市	25円	15円
杵築市	21円	10.5円

生活福祉部長 昨年度の販売額  
は4,457万2千円ほどで  
あり、クリーンセンターの維  
持管理に2,800万円ほど  
使っております。修繕費が  
年々かさんでおり、今しばら  
く維持管理のために市民の皆  
さんにご協力をいただきたい

### ○指定ゴミ袋の値下げに ついて

議員 ゴミ袋の価格は近隣の市

町村に比べ約倍近くしてい  
る。袋に企業名を印刷し宣伝  
料を頂く「ネーミングライ  
ツ」や全国の市町村会等に呼  
びかけ合同で発注する等の値  
下げ努力をしてきたのか。

## 委員会レポート

### 総務委員会

委員長 丸小野 宣康

当委員会で審査いたしました案件は、今回付託を受けました議案2件であります。当委員会は、去る9月17日に開催し、担当部長ほか関係職員の出席を求め慎重に審査を行いました。その結果議案第98号平成21年度国東市一般会計補正予算（第3号）の関係部分、議案第100号平成21年度国東市立国東自動車学校特別会計補正予算（第1号）の議案2件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。尚、色々と意見が出ましたが、ここで2件ほどその内容について報告したいと思えます。まず、一般会計補正予算の2款自治振興費、地区公民館への空調設備等設置事業補助金については市内の業者が潤うような方法を考えてほしいとの意見がありました。また、エアコンを設置しない行政区に対する補助は、22年度になれば一般財源からの持ち出しとなるの

で、年度内に交付すべきである。との指摘があった。そのほか、住宅用火災警報器設置推進事業について、既に設置している家庭はどうするのかとの意見があり、本年の4月1日以降設置分のみ対象とするとの回答であり、補助額については、これから実施する入札での1台当たりの価格とするとの事であった。2台目の設置に補助できないのかとの意見もあった。以上、総務常任委員会の審査報告といたします。

### 文教委員会

委員長 堀田 一則

当委員会は去る9月17日に開催し教育次長、関係課長の出席説明を求め慎重に審査いたしました結果、今回付託を受けました議案第98号「平成21年度国東市一般会計補正予算（第3号）の關係部分」並びに議案第114号「損害賠償の和解について」の両案件については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。但し、議案第114号にのみ意見並びに要望がありました。その内容は、昨年の5月に市内の幼稚園内の遊具において発生した事故に関するもので、今回の定例議会が開始する前

### 厚生委員会

委員長 唯有 幸明

の9日に多くのマスコミがその和解金額を新聞紙上にて大きく見出しに発表いたしました。それゆえに金額のみが一人歩きし、結果、当事者並びに関係者に過大な迷惑をおこしかねない。「報道の自由」とはいえ報道関係者を始め市の対応も出来る限り先方の心情を十分配慮し、慎重かつ、思いやりの心で対応してもらいたい。又、こういった問題は当委員会だけでなく市全体として同じ事の起らないよう適切な対応をすべく各所に通達すべき。との意見及び要望があった事をここに報告いたします。

平成21年9月議会に審査を付託された生活福祉部関係議案、平成21年度国東市一般会計補正予算（第3号）の關係部分外9議案、福祉事務所の平成21年度国東市一般会計補正予算（第3号）、市民病院の平成21年度国東市民病院事業特別会計補正予算（第1号）について、9月18日鶴川庁舎にて委員会を開催し慎重なる審議を行い、いずれも原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

### 産業建設委員会

委員長 吉松 京一

また審議の中で、市民病院の改築にあたっては、現在敷地内にある市道の位置変更を考えるべきではないか。地域医療との連携がうまく機能するように、医師会の事務所を病院内に設置してはどうか。医師の確保にも全力をあげるべき。耐震を考えた施行を考えては等の意見が出されました。

本定例会において当委員会に付託されました各案件につきましては、去る9月17日に委員会を開催し、審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査の過程で意見がありましたので、その概略をあわせてご報告申し上げます。議案第98号 国東市一般会計補正予算第3号中、農業委員報酬の補正についての質疑に対し、農業委員の任期の起算が3月31日からとなっているので、改選の年に限り3月31日の1日分の報酬を支払わなければなりません。任期は変更できませんので、報酬を支払う条例を改正すれば可能かと思いますとの説明がありました。

次に、採決にあたり討論はなく、全員異議なく原案どおり可決すべきものと決定いたしました。  
また、継続審査になっていました請願第9号「協同出資・協同経営で働く協同組合法」（仮称）の速やかな制定について意見書の提出を求める請願 については、紹介議員の説明を求め、慎重に審議した結果、採択すべきものと決定しました。

## 委員会視察報告

### 文教委員会

委員長 堀田 一則

7月28日から30日の三日間、福岡県の星野村、熊本県の宇城市、宮崎県の西都市で視察研修を行いました。

星野村は人口約3,300人のお茶と棚田が有名な山村地区です。地元小学校の廃校を無くすため20年前から山村留学に取り組み、今では都会から毎年20名前後の生徒が転入し卒業しています。生徒は親と離れ、朝6時起床、9時就寝、交替で掃除洗濯をし、ゲ

ームも禁止といった「我慢ばかりの共同生活」ですが、教科書にない多くのものを体験し吸収して帰ります。それらの経験が将来の人生の中で「よりよく生きる」きっかけに確実になっていると感じさせられました。棚

田もそうですが何がなんでも地域を守るんだという地元住民の強い意識と協力。入校する条件として親の押し付けではなく、あくまでも「本人の希望」というコダワりに「人を育てる」といった原点を感じ強く感動いたしました。

熊本県宇城市では「市民あげての生涯学習の取り組み」について視察しました。縦は子供から大人そして老人まで、横は農業、商工業を始め市内全域のグローバルな取り組みで多くのボランティア団体や地域組織、NPOが積極的に活躍しております。ある商店街では商工会が中心に町づくり委員会を結成、空き店舗を解放し地域活性化講演会や、児童の学習発表会を実施し、それがきっかけで児童も地域貢献として子供から見た環境問題や商店街活性化等の問題を



山村留学を行っている星の自然の家

考え指摘し提案しています。地域との絆が昔のように蘇っております。

過疎、少子高齢化に何事からも逃げているのは住民であり、この地区のようにそれぞれが夢を持ち、活性化してゆくのも住民です。つまり諦めたらそこで終わり、まず自分の周りからできる事をコツコツと続け広げることが必要なんだと確信いたしました。

西都市では4世紀頃から東西2.6km、南北4.2kmにかけ、400有余のさまざまな形をした古墳が点在しております。この「古墳まつり」は昨年22年目を向かえ地元の青年が作る実行委員会が「日本一のまつり」をテーマに小学生から大人まで多くの組織や団体が参加し夜遅くまで松明のもとで壮大に行われておりま

す。  
参加している子供達が夢に向かい一生懸命に汗を流す大人の背中を見ていろんな事を学び、考え、育ち次の世代へとまた独自の夢とともに確実に伝えること。それらの大切さを今回の視察で強く感じさせられました。

### 厚生委員会

委員長 唯有 幸明

去る8月26日から28日まで、新潟県見附市と長野県川上村へ視察研修を行いました。

見附市では「日本一健康なまちを目指して」をスローガンとして【食育】【運動】【生きがい】【検診】を4本柱に、いきいき健康づくり計画を作成し取り組んでいます。【食育】の事業では、昭和30年代の日本食を見直し、日本型食生活の普及につとめ、安全な食材の確保のためにエコファーマーを育成し、減農薬野菜の生産を推進しています。【運動】の事業では、定期的に継続して運動やウォーキングを行う人の割合を増やすため月額2千円の受講料で、中高年向けの健康運動教室を実施し、寝たきり予防と健康維持増進をはかり、医療費の削減につなげ

ていました。【生きがい】事業では、ハッピーリタイアメントプロジェクト（悠々ライフ）をサポートするため、ボランティア活動や趣味を生かした教室への参加を呼びかけ、地域で楽しく暮らせるよう応援しています。国東市においても「健康づくり計画」が策定され、今年度から具体的に始まりません。より多くの市民に参加できるように努めていただきたいと思います。

次に高原レタスで高い収益を上げる川上村では、農家への子育て支援としての学童保育や医療費の全額補助などに早くから取り組み、県外から嫁いで来る若い女性が多く、合計特殊出生率1.83



健康づくりの拠点となるネーブルみつけ

と高く、少子化に歯止めをかけています。また国民健康保険1人当たりの医療費は16万円と低く、保健・医療・福祉サービスを一元化した「ヘルシーパークかわかみ」の存在が大きく影響していると感じました。施設内には保健福祉課、包括支援センター、社協、診療所さらに全国的に珍しい村営の鍼灸施術所、トレーニングルームなどを併設し、子どもからお年寄りまで健康や福祉に関して、1箇所ですべて集中的に管理しています。本市においてもそのような施設が建設されることを期待するものです。

今回の視察で改めて感じたことは、まちづくりにしても、健康づくりにしても、地域の実情に応じた自治体独自の施策を打ち出し、事業を推進する必要性を感じました。

**産業建設委員会**

委員長 吉松 京一

7月28日、産業建設委員全員出席のもと行政視察を行いました。日本最大の離島佐渡市は、海は抜群の透明度を誇る数多くの海水浴場、マリンスポーツ等有し、自然公園（国、県）に指定され、歴史

と文化、自然がマッチしたトキの街です。委員会は、佐渡市における「美しくやさしい島づくりプロジェクト」について研修をしました。

まず、びつくりした事は、市民大学の中に「環境」だけを学ぶ大学講座を開催している事でした。その中の2つを紹介します。「どうなる地球温暖化と食糧、農業生産」、「自然再生と自然保護」という演題で、内容がかなり高度なのに驚きと、ため息が出ました。市民の環境に対する関心度が地方によってかなりの差がある様に思えました。

また、私達でもすぐ取り組める空き缶、たばこ、ガム、飼い犬の糞等の「ポイ捨て防止運動」を行えば、一人一人の考えだけで、これだけでも100%達成できると国東市も随分変わるのではと思います。

2日目、人口47,000人の新潟県阿賀野市は、3つのこじんまりとした温泉街を有し、県立自然公園を中心に、環境保全農業によって安心、安全、新鮮で食と温泉と白鳥の街です。ホテルがあるわけではないが、「あたたかいもてなし」として新潟の奥座敷として人気度バツグンです。特に代表



新潟県佐渡市での研修

的な名所としてラムサール条約に登録されている湿原の瓢湖があり、24haが整備され、春の桜、夏の菖蒲、夏の蓮、冬の白鳥と年間を通してたくさんの方が訪れているそうです。

私達委員会が2日間学んだ事は、人に優しい環境づくりがいかにも必要かということ、それが市民一人一人に理解できなければ実現できないし、意識のレベルアップが必要だということです。機会がある毎に「人に優しい環境づくり」に対する意識啓発を行い、「市民全員の参加」のもと、こうした事業に取り組む必要があると強く感じています。



# 行革特別委員会活動報告①

## = 行財政改革調査特別委員会委員 =

委員長／後藤 耕一郎	委員／渡邊 俊樹
副委員長／吉松 京一	委員／諸富 忠 (H20年5月まで)
委員／大谷 和義	委員／猪俣 俊雄 (H20年6月から)
委員／堀田 一則	



武蔵町フラワーセンターでの研修

平成18年9月定例会で設置された行財政改革調査特別委員会は、行財政の効率化等に努め徹底した行財政改革を進めることを基本理念として、これまでに、職員数削減の問題、行政組織体制の問題、ムダな支出の洗い直し、施設の合理化の問題等々約40回にわたり調査検討を重ねてきました。当委員会では、議会のチェック機能を十分活用して、国東市が健全で活力のあるまちとなるよう活動を続けております。

これまでの委員会活動の内容を、委員会から議長への中間報告、議長から市長への提言、そして市長からの回答という構成で今月号から2回にわたりお知らせしていきたいと思えます。今回は、平成19年4月に行った市長への提言、それに対する回答をお知らせします。

委員長 後藤 耕一郎

## 平成19年4月に行った 市長への提言とその回答

(回答の内容は、平成19年6月1日現在です。)

市長への提言	市長からの回答
<p><b>1、職員の定員管理について</b></p> <p>合併に伴う職員の定員管理について、合併効果を活かしながら、早期に定員適正化の推進を図るべきである。</p>	<p>将来にわたる本市の財政の健全化及び更なる行政運営の効率化の視点から少数精鋭主義を基本として、国東市定員管理計画に基づき、更なる職員数の削減を目指し、昨年に引き続き積極的に退職勧奨を実施し定員の適正化を図る。</p> <p>【今年度（19年度）以降の取り組み】</p> <p>退職勧奨を各年度の早期から実施し、積極的に退職を促すとともに、退職者数の確定を早めることにより翌年度の組織改革に的確に反映させる。平成20年及び21年の一般職の採用はしない。(退職者全員分を不補充)</p> <p>【実績】…(消防、病院職員を除く)</p> <p>◎合併時の一般職の職員数…503人 平成21年4月1日現在…432人</p>

市長への提言	市長からの回答
<p><b>2、組織体制について</b></p> <p>①総合支所方式の見直し。</p> <p>②教育事務所の一本化を図るべきである。</p> <p>③市が経営する福祉施設の民営化の推進を図るべきである。</p> <p>④消防の安岐出張所と武蔵出張所の統合を検討するべきである。</p>	<p>①行政効率と住民サービスの向上を目的として、保有施設の有効活用の観点から組織機構を随時見直し、職員の再配置を行う。</p> <p>※取組状況 国東市包括支援センターを武蔵町保健福祉センターに設置、国東総合支所機能を本庁に統合など</p> <p>※今後の課題 本庁機能の充実を図るためには、本庁舎に職員を集中させる必要があるが、現状ではそのスペースがない。したがって行政効率と住民サービスの低下に直接つながりにくい部局については、今後の組織機構改革にあわせ一部分庁方式を検討する。</p> <p>②教育事務所については、今後、管理一元化が必要と考えている。平成20年度の本化に向けて検討を行う。(現在は一本化されている)</p> <p>③特別養護・養護老人ホーム等の福祉施設民営化については、本年度から検討委員会を設置し、今後の各施設の運営方針について早急に取りまとめる。(むさし苑、松寿園は平成21年4月から民営化になった)</p> <p>④消防職員については、現状の消防施設等を維持するために必要な最低人員で現在配置しており、これまでの経過と現状を精査し、関係機関と十分協議を重ねながら前向きに検討する。</p>
<p><b>3、指定管理者制度について</b></p> <p>公の施設の中に、指定管理契約している施設と直営の施設がある。また、指定管理している施設でも、委託料や補助金を支出している施設と、一切支出していない施設もある。こうした公の施設全体を対象に、「民間に委託できるものは委託する、直営でやるべきは直営でやる。」という徹底した整理を行なう必要がある。そして、効率的な管理運営を行い経費節減に努めるべきである。</p>	<p>公の施設の運営管理については、昨年度までに指定管理を行った施設が19施設あり、そのうち9施設に委託料を支払っている。他の直営施設についても効率性の観点から民間委託が可能なものから委託を検討していく。さらに、現在、指定管理契約を行っている施設についても、その運営の効率性の観点から、直営に戻したほうが妥当と判断される施設もあり、本年度からその見直しを行う。</p> <p>(平成21年4月1日現在で、指定管理されている施設の数は、27施設です)</p>

市長への提言	市長からの回答
<p><b>4、補助金、各種イベント、文化財関係について</b></p> <p>①補助金交付基準等を見直し、補助金の評価システムを構築するべきである。</p> <p>②各種イベントについては、行政が主体で行なうものと民間が主体で行なうものがある。それぞれ地元の見解を聞きながら整理統合を図るべきである。</p> <p>③六郷満山文化の中で、先人達から受け継いできた伝統文化の継承をさらに支援していくべきである。</p>	<p>①国東市補助金交付基準を昨年度策定し、今年度から適用している。評価システムについては、今年度から昨年度の事業（補助金を含む）について外部評価を含めた評価システムを導入する。</p> <p>②旧4町のふるさと祭りについては、平成20年から一本化して行う。他のイベントについても統合すべき同一イベントは昨年を引き続き統合する。 (現在は旧4町それぞれで実施)</p> <p>③これまで各保存会には必要な支援をしており、今後も引き続き支援を行う。</p>
<p><b>5、市が出資等している外郭団体について</b></p> <p>①国東畜産振興公社、国見町畜産振興公社については、公社設立の目的、意義がなくなっており、早急に廃止する方向で検討するべきである。財産については、有効利用や処分も含めて対処するべきである。</p> <p>②国見くるまえび養殖組合は、現在市が約6,000万円の損失補償をしており、融資残に対して1%の利子補給をしている。約2億円の負債の問題や、経営改善策など将来的に見て明るい兆しが見えない。この施設を今後どうするか早急に対策を講じるべきである。</p>	<p>①国東町畜産振興公社については、平成19年度で起債償還が終了するため、今後JAと廃止の方向で協議していく。また、平成19年5月30日畜産業者及び団体より、正式に畜産事業進出・公社買収の事業説明があった。あくまでも地元住民の理解が得られればの条件であるが、公社の売却を前提に畜産経営を推進したい。国見町畜産振興公社については、平成19年5月29日通常総会において、今後2ヶ年で畜産公社の廃止が決定し、今後公社廃止後の対応を検討する。 (国東は21年度中に解散に向けて事務を進めている。国見は現状維持です)</p> <p>②昭和56年から59年にかけて国の補助事業である沿岸漁場整備事業(養殖場造成事業)により旧国見町が整備した施設であり、施設を閉鎖する場合は当然補助金適正化法等の制約を受ける。施設の指定管理先である国見くるまえび養殖漁業生産組合は今年度より販売額の増大に向け生産規模の拡大を計画しているが、市としては、今後生産組合に経営改善計画を提出させ、その経緯を注視するとともに、経営状況を見極め厳正に対処する。 (現状維持です)</p>

議会のうぶき

7月1日～3日

総務委員会行政視察

21日 広報編集特別委員会

22日 総務委員会

文教委員会

産業建設委員会

23日 厚生委員会

24日 行財政改革調査特別委員会

27日～29日

産業建設委員会行政視察

28日～30日 文教委員会行政視察

8月25日 議会運営委員会

26日～28日 厚生委員会行政視察

9月1日～3日

行財政改革調査特別委員会行政視察

7日 産業建設委員会

8日～30日 第3回 定例会

15日 議会運営委員会

広報編集特別委員会

17日 総務委員会

産業建設委員会

文教委員会

18日 厚生委員会

24日 議会運営委員会

24日～25日 決算特別委員会

10月9日 行財政改革調査特別委員会

15日 広報編集特別委員会

21日 広報編集特別委員会

27日 広報編集特別委員会

去る9月13日・14日に、第62回県体議員ソフトボール競技が行われました。国東市議会チームは、昨年に引き続き見事に2連覇を達成しました。



第62回県体議員ソフト2連覇

議会を傍聴しましょう！

次回定例会の開催予定は12月上旬の予定です。議会を傍聴されたい方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL (0978) 7215196

編集後記

今年は、梅雨前期の長雨後に降水量が過去に例のない少量で普通期水稲の分けつ時期に悪い影響が見受けられた。収穫時期を迎えたが、昨年の作況指数102を大きく下回るの目に見えているが、できるだけ影響がないことを望むところである。

さて、今年は日本国にとっても大変なこととなり、政権与党として長年君臨してきた自由民主党が東京都議選並びに平成21年衆議院選挙において大敗し、政権を民主党に奪われて野党となった。政権交代した民主党に国民は期待しているところだろう。しかし、10月になってもマニフェストに掲げている、子ども手当の開始時期を明言しないのは問題だろう。10月中旬までに各省庁に無駄な予算の計上を支持しているのだろうか？国民に示したことは確実に実施してもらいたいものだ。今後の展開を見守るしかないのだろうが、国民の期待を裏切ることのないように政権与党として国政を進めてもらいたい。

(高橋)



発行責任者 諸富 忠  
編集委員長 野田 忠治  
副委員長 白石 徳明  
委員 堤 康二郎  
元永 安行  
渡邊 俊樹  
高橋 正之  
大谷 和義  
丸小野宣康